

【令和6年5月29日開催 中学校区説明会における質疑応答】

No.	意見	回答
1	今回の説明会について、急な連絡と平日の午前中開催だったので、多くの人に参加しやすい平日の夜とか休日に開催して欲しい。また、開催連絡ももっと早く出して欲しい。	具体的な予定や対象者をどうするかといった詳細は決まっていませんので、今後、改めて説明会を開催する予定です。また、説明会を開催する場合は、早めに周知をします。
2	経過措置(校区選択制)の期間に該当しなかった場合の対応や補償はどうなるのか。	経過措置の期間は、将来的に導入を考えている小中一貫校が完成するまでの間など、色々な考えがありますので、保護者の意見を聞きながら検討していきます。 一方で、選択期間が長いと、子どもたちが選択することに迷いが生じる恐れもあることから、そこにも配慮した上で進めます。
3	事前に提案などもなく、突然、校区変更が決定された理由は何か。	教育委員会に寄せられたご意見の中で、登校で坂を登っていかないといけない環境に非常に不安を感じるので、校区変更を少しでも早くして欲しいというご意見もありました。そこで、影響が出る方への配慮として、経過措置を設けた状況です。 突然の通知とならないように、情報提供は丁寧にしていきます。
4	説明会の開催文書について、教育委員会から正式な文書を出すべきでは。	今後、開催する際は、教育委員会名で文書を出します。
5	経過措置の手続きはいつまでにしないといけないのか。	来年4月に中学校に入学される方から適用することを例に挙げますと、令和7年1月頃から中学校の入学説明会が始まりますので、遅くとも12月下旬には、就学する中学校を決定しておかなければなりません。その場合、秋ごろに意向調査を開始することになります。
6	現中学1・2年生で希望される方も、今回の対象としてはよいのではないか。	進学した中学校で卒業していただきたいが、通学途上の問題や学校生活における課題等、宝塚第一中学校に通いづらい理由があるのであれば、教育委員会までご相談ください。
7	市としての課題について、全体のロードマップやビジョンを市ホームページ等で示してほしい。	義務教育学校への取組や校区の整合について、全市的なものの計画策定に着手しており、完成した場合は、市ホームページで公開します

【令和6年5月29日開催 中学校区説明会における質疑応答】

No.	意見	回答
8	本日の配布資料では、「9段階的に着手(案)」となっているが、この場で意見とか言えば、今回の提案は変わるのか。	教育委員会で審議して最終決定となりますが、まだ教育委員会で審議もしていないので、(案)としています。 この中学校区の変更が、子どもたちに大きな影響を及ぼすことがあると、教育委員会が判断した場合は、着手内容の変更やもう少し時間をかけて検討していくことになります。
9	経過措置により、宝塚第一中学校も選べるということだが、判断材料がないので、進学する学校を判断する上でオープンスクールの情報や学校の情報を発信して欲しい。	宝塚第一中学校・高司中学校共に学校のホームページがありますので、学校の取組を積極的に発信するように中学校側に伝えます。 また、オープンスクール以外にも学校見学ができるような機会を設けることができるように学校側と調整していきます。
10	来年度から実施する場合、今の6年生は学校を選択する上で、時間がないと思う。子どもと家庭に対してどのようなフォローをしてもらえるか。	校区選択がなくても、中学校進学については、小学校はフォローをし、中学校にも引継ぎを行います。6年生に対してどのように伝えていくかは、教育委員会と学校が連携して対応していきます。
11	宝塚第一中学校と高司中学校に進学した人数を提示してもらいたい。	保護者宛通知に進学者数を公表することは可能です。
12	市内中学校の学力の差や進学実績が分かるようなを提示してもらいたい。	全国学力状況調査の結果など、学力が分かる資料については公表していません。
13	今の6年生の対応について、何月に何をするか、年間スケジュールを出してもらいたい。	学校と相談し、どのようなものを出すか検討していきます。
14	スクリーンによる情報発信だと、未就学児世帯など、周知されていない世帯もあるため、紙媒体での広報もしてもらいたい。	少しでも多くの方の目に触れるような周知方法を検討していきます。
15	光明小学校規模適正化検討委員会の平成29年1月25日開催分の議事録がない。もし、議事録等があれば公開していただきたい。	確認し、公開するようにします。

【令和6年5月29日開催 中学校区説明会における質疑応答】

No.	意見	回答
16	光明小学校の卒業生が中学校に進学した際、1クラスにまとめるとか、できるだけ少人数にならないように2クラスに分けるとかの対応は可能か。	学級編成は学校に委ねられていますので、今回いただいた意見は学校に伝えます。
17	市内中学校の不登校率に差はあるのか。	生徒数の差があるので、一概に多い少ないは言えませんが、割合としては、それほど大きく変わらないと思います。
18	事前に何も知らされていない中で、今回、急に中学校区が変更となる通知があった。今後、小学校区とかで、また変更がある時は、情報提供や話し合いの場を設けていただき、告知もしっかりしてもらいたい。	事前に十分な説明ができていませんでしたので、今後はそのような機会を設けます。小学校区の変更については、学校や地域、保護者の代表の方に集まっていただき、意見を聞きながら進めていきます。そこで協議した内容は、説明会の機会を設け情報提供をしていきます。